

令和3年度 第3回 大槌町地域公共交通会議

議 事 録

日時：令和4年1月20日(木) 13:30～15:00

場所：大槌町役場庁舎 3階 大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 協議事項
議案第1号 令和3年度大槌町地域内フィーダー系統確保維持計画の
事業評価について
議案第2号 大槌町乗合タクシー実証運行事業計画（案）について
報告第1号 大槌町地域公共交通計画（案）について
- 4 その他
- 5 閉 会

配布資料

- ・次第
- ・議案第1号 令和3年度大槌町地域内フィーダー系統確保維持計画の
事業評価について
- ・【別紙 1】 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価
- ・【参考資料】 大槌町民バス運行図、時刻表
- ・議案第2号 大槌町乗合タクシー実証運行事業計画（案）について
- ・【別紙 2】 大槌町乗合タクシー実証運行事業ちらし
- ・【資料 1】 大槌町地域公共交通計画（案）
- ・【資料 2】 会議等スケジュール(案)

出席者

出席委員

(敬称略)

会長	大槌町副町長	北 田 竹 美
副会長	大槌町行政連絡員協議会長	小 林 徳 雄
委員	岩手県交通株式会社乗合自動車副部長 代理	
	岩手県交通株式会社釜石営業所長	那 波 精 悦
	大槌地域振興株式会社代表取締役社長	澤 山 重 夫
	岩手県タクシー協会釜石支部支部長	岩 崎 松 生
	社団法人岩手県バス協会事務局長	鈴 木 一 成
	岩手県交通運輸産業労働組合協議会岩手県交通労働組合執行委員	藤 井 知 行
	大槌商工会事務局長	村 田 仁
	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官	馬 場 真 也
	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官	小 野 寺 実
	岩手県沿岸広域振興局経営企画部企画推進課特命参事兼企画推進課長	大 釜 範 之
	岩手県警察釜石警察署交通課長	松 舘 茂 雄
	国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所工務課長	阿 部 千 枝
	岩手県沿岸広域振興局土木部道路整備課長	山 本 純 一
	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社総務部企画室地域連携推進室長	松 野 文 一
	三陸鉄道株式会社旅客営業部シニアリーダー	三 浦 芳 範
	大槌町技監兼地域整備課長 代理	
	大槌町地域整備課 管理班長	越 田 宜 弘
	大槌町協働地域づくり推進課長	郷 古 潔

欠席委員

	岩手県公安委員会岩手県警察本部交通部交通規制課長	佐 藤 普
	岩手県立大学総合政策学部准教授	宇 佐 美 誠 史
	大槌町健康福祉課長	小 笠 原 純 一
事務局		
	大槌町企画財政課長	太 田 和 浩
	大槌町企画財政課企画政策班長	太 田 信 博
	大槌町企画財政課企画政策班主査	阿 部 司
	大槌町企画財政課企画政策班主事	佐 々 木 一 樹

(13時30分開始)

【協議事項】

議案第1号 令和3年度大槌町地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

(資料の説明)

■小野寺委員（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）

この評価は取り組んでみて効果が出たのか、どうだったのかを評価してもらうものです。評価としてはCになったということですが、これによって国の補助額が変動するわけではありません。これはこの結果だということと理解して頂ければと思います。

■澤山委員（大槌地域振興株式会社）

震災による影響と新型コロナウイルスによる影響、トンネルによって路線の変更等様々な影響があります。今後も引き続き努力改善をしていかなければならないと感じている。

■会長

第1号議案について賛成、反対、保留で挙手をお願いします。

→全員賛成

全会一致で第1号議案を決することといたします。

議案第2号（仮称）大槌町乗合タクシー実証運行事業計画（案）について

(資料の説明)

■岩崎委員（岩手県タクシー協会釜石支部）

震災後、宅地が高台に移動したため高齢者が不便を感じている。以前から不便な人たちを何とかしてやりたいと考えていた。タクシー事業として地域の人々の足を守りたいということで、以前からやりたいと考えていた。実際、やり方としては良いが、受付の負担が心配で、人を増やさなければならぬかと考えている。町に出る人が多くなれば、町の活性化にもつながるのではないかと考えている。前向きにやっっていこうと考えている。

■会長

実証事業の1年間を通して、様々な課題を掘り起こして、それを次年度に向けて改善していきたいと考えている。

■小林委員（大槌町行政連絡員協議会）

利用の際、事前登録が必要ということだが、急いで行きたい時はどうなるか。

■事務局

本制度としては、前日予約でお願いをしていたので、急遽の対応は難しい。

事前登録については、2月頃に対象地区に行き、事業説明を行う予定である。利用を考えられる方は、出来るだけ登録をしてもらいたい。丁寧な広報も行っていく。

■馬場委員（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）

4月から始めるということで、審査期間を2か月いただいておりますので、1月中に申請してもらえればありがたい。不明点があればご連絡ください。

■会長

第2号議案について賛成、反対、保留で挙手をお願いします。

→全員賛成

全会一致で第2号議案を決することといたします。

報告第1号 大槌町地域公共交通計画（案）について

（資料の説明）

■三浦委員（三陸鉄道株式会社）

この計画に合わせて私どもも取り組んでいきたいと考えているが、新型コロナウイルスにより色々なことが変更となり、思うような取り組みができないでおります。このところまたオミクロン株の影響があり、先週からキャンセルが殺到している状況です。これを年度末に向けて、いかにカバーしようかということで取り組んでいる状況です。

■松野委員（東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）

新型コロナウイルスの影響として前年度に比べ、7割くらいは回復してきている状況です。しかし、まだまだ予断を許さない状況ではあります。

今後、乗合タクシーに取り組むということで、デマンド型交通は全国的にも広まっている取り組みですが、当社も一関でデマンド型交通に取り組んでいます。私も実際に乗って見たところ、すぐに来てくれて、利便性も高く安価に乗れ、とても有効な新しい交通手段だと感じています。一関で私も住民説明をしましたが、まずは使っていただく方への周知は非常に重要だと感じており、ぜひしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

■鈴木委員（社団法人岩手県バス協会）

先ほどの事業評価の達成値はCになったということでしたが、新型コロナウイルスの影響により「人流抑制」と言われますが、交通事業者はしっかりと感染対策に取り組んでいますので、ぜひ地域の方々に、安全ですということをアピールして頂いて利用促進を図っていただければと思います。対策としては特に換気に取り組んでいます。長距離バスについては換気性能も良く、仕切りも設置しています。

■那波委員（岩手県交通株式会社）

乗合タクシーは、県交通のバス時間に配慮して頂き、感謝しています。

また、弊社でも感染防止に取り組んでいますので、安心してご乗車いただきたい。また、引き続き大槌から釜石に通っている方の足の確保に最善を尽くしたいと考えています。

■藤井委員（岩手県交通労働組合）

普段感じていることとして、大槌～釜石間の乗客数は減少しているのかなと思います。乗り継ぎの改善が課題であると思うので、考慮して取り組んでいただきたいと思います。

計画（案）13 頁の長距離バス「盛岡釜石線」の中央公民館入口は、現在、大槌町役場に変更していますので、修正をお願いします。

乗り継ぎについては、釜石から来た時に遅延するために乗り継げないという場合もあると思うので、そのあたりも考慮して改善していただければと思います。

■松館委員（釜石警察署交通課）

昨今、全国的に免許の自主返納者が増えています。やはり不便な地域に住んでいるということで、自主返納をためらっている方がいるのも事実かと思います。心配する家族からの相談もあります。警察としては無理やり返納してもらうことはできない。このような永続的、長期的な安心安全な地域交通があれば、安心して自主返納ができるのかなと思います。どの自治体も高齢化率が上がっており、今だけの話ではなく、計画が続いていけば事故抑止にも繋がりますし、良い取り組みかと思いますので、よろしくをお願いします。

■大釜委員（沿岸広域振興局経営企画部）

国勢調査の結果、人口が減少していることが明らかになりましたが、岩手県全体よりもさらに沿岸は高齢化が進んでいます。高齢化が進んでも暮らしやすいまちづくりが必要と感じています。被災者も含めて福祉のまちづくり、そのためにも地域公共交通を活かした移動の足づくりを行うことで、単身の高齢者でも生き生きと活躍できるまちになるかと思っています。本計画を拝見させていただきましたが、震災により変化したまちの状況に、非常に細かいところまで対応した計画となっていると思います。関係者の皆様が一体となって取り組んでいただければと思います。

■山本委員（沿岸広域振興局土木部）

震災後は三陸沿岸道路等が完成し、現実的には道路の交通量が減っている。バスが円滑に運行できるように、道路環境を整えていきたい。

■阿部委員（南三陸沿岸国道事務所）

道路管理者の立場として、バスが安全に運行できるように道路の管理を適切に行っていくと考えています。

■村田委員（大槌商工会）

アンケート等を見ると、マストでの乗降が多いようですが、買い物をする時間の確保などの意見がありましたので、そこを対応してもらえればと思います。また、小釜金沢の路線が1本になり、時間帯等不便になっているようなので、そこを改善していくのが一番なのかなと思います。一番の交通不便地域で、免許の返納も難しいと感じる地域かなと思いますので。公共交通は高校生も多く利用すると思うので、高校生、特に町外から来る高校生の意見にも配慮してもらいたい。

■小林委員（大槌町行政連絡員協議会）

バスの接続時間帯を出来るだけ合うようにしてもらいたい。大槌高校は駅から遠いので、授業時間に余裕をもって間に合うよう改善してもらいたい。

■郷古委員（大槌町協働地域づくり推進課）

公共交通はまちづくりに必要なものですが、周知などはなかなか難しい。また感染症など見通せないものもあるかと思いますが、目標達成に向けた取り組みにおいて、課として情報共有しながら協力していきたい。

■澤山委員（大槌地域振興株式会社）

接続時間の問題、循環線の右回り、左回りがわかりづらい、循環線の効果が発揮されていないという課題点が出されているので、当社としても改善に取り組みたいと考えている。

■岩崎委員（岩手県タクシー協会釜石支部）

デマンド型交通については、住民の方にしっかりと周知してもらいたい。乗合になることで、10分で来るところが20分、30分かかったりもするかと思うので、その辺について特にご理解をいただけるように、説明をお願いしたい。

■小野寺委員（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）

取り組みについては乗り継ぎ改善など、行政としてできることをやろうという姿勢が見えますが、なかなか行政だけでは解決できないと思います。計画案52頁にはマイレール・マイバス運動というのがありますが、自分たちの鉄道なんだと、自分たちのバスなんだと、住民の方に近い存在と感じてもらえるような取り組みが重要だと思います。乗る方がそういう意識を持つことが重要だと思いますので、ぜひ進めていただきたいと思います。

■馬場委員（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）

まずは進めていただいて、意見を聞いてさらに改善して、より良くしていただければと思います。1回やって終わりではなく、柔軟に対応していただければと思います。何より利用者に喜ばれる公共交通で、安全第一でよろしく願います。

(15:00 終了)